

加藤もとあき

動けば、変わる!

県議会
レポート

Vol.8



コロナ後の安心/安全、経済政策を進める!

I 令和3年度静岡県予算1兆3千億円が県議会で可決・成立!



(需要減の花卉生産者を支援する花エール事業)

新型コロナウイルスのワクチン接種がスタート、一方で2020東京オリンピック・パラリンピック開催が目前に迫るなど、政治的には重要な局面となっています。

一方、静岡県では、県民の生活を守る令和3年度予算が県議会にて可決、成立。予算規模は約1兆3千億円(対前年度+2.4%)。

主な事業内容は、「I、ウィズコロナ・アフターコロナ時代の先導的な地域づくり」として、新型コロナウイルス対策と市町と一体での地域経済対策、県内県産品の消費拡大策や観光振興、テレワーク対応策と移住定住促進など。

「II、人づくり・富づくりの総仕上げ」として、インフラ整備による国土強靱化、安心医療の確保・充実、少子化対策&子ども居場所づくり、特別支援学校拡充、次世代自動車産業の構築、エネルギー地産地消、東京2020 オリンピック・パラリンピック開催とサイクルスポーツの聖地づくりなど、多岐に渡る政策が推進されることになります。

1年以上に渡り、コロナに苛まれてしまいましたが、令和3年度は反転の年度とし、県民の皆様が安心、安全に、将来への夢、希望をつなげられる様、更なる施策の充実に尽力して参ります。そこで、本レポートでは、令和3年度事業のトピックスについてご紹介させていただきます。

① 命を守る県東部地域ドクターヘリの安定運行に向け緊急支援実現!



自民党県東部選出県議と医師・病院関係者との意見交換&現場視察(令和3/3)

ドクターヘリ 医療圏別出動回数(令和元年)

賀茂297回	熱海伊東222回	沼津三島189回
田方伊豆150回	御殿場小山115回	富士富士宮107回
駿東98回		

県東部地域をカバーする順天堂大学静岡病院(伊豆の国市)のドクターヘリの出動回数が令和元年度1196回(県西部ヘリは392回)となり、全国43都道府県53機中、2番目に多い稼働状況となっており、運営、経営面で厳しい状況に陥り、体制の拡充など緊急対策が必要との要望を昨年末に頂きました。

運行損益では、県補助金2億5274万円に対し、順天堂大学経費4649万円、運行会社経費2億7518万円であり、それぞれの赤字額は、順天堂大学2438万円、運行会社4454万円でした。

これに対し、県議会自民党にて、「順天堂大学病院にて意見聴取→県知事への支援強化要望→令和3年度予算で補助増額決定(約1億円)→安定的運行体制構築」を短時間で実現することが出来ました。

なお、医療圏別出動回数は左表の通りで、沼津地区も多く、搬送先医療機関は、順天堂797(人)、沼津市立病院40、静岡医療センター38、西島病院21、県立総合病院21、県立こども病院18の順。

これで、令和3年度のドクターヘリ運行も安心となりました。

② 沼津市南部地域から通学できる「伊豆の国特別支援学校」開校へ!



体育館は県産材の木造づくり

県議会自民党の県東部選出の有志議員で4月開校となる伊豆の国特別支援学校を視察。この伊豆の国特別支援学校は、沼津特別支援校の生徒増(H27:334名→R2:380名)による校舎、教室の狭小化の解消とゆとりある教育の実現に向け、沼津校まで通学していた沼津市南部地域、三島市、伊豆&伊豆の国市、函南町の知的障害のある小学校~高校までの生徒を新たに受入れる様に県が新設し、初年度は150名を受入れ予定。

校舎整備の特徴は、全教室に空調設備設置、校舎内は県産木材をふんだんに使用し、体育館は木造づくり、グラウンドは天然芝を敷き、トイレは乾式・洋式・非接触化などにも対応しています。

これまで2時間近く通学にかかっていたケースもある生徒さんたちの喜ぶ顔が楽しみです。

⑥ 沼津市西浦のみかん栽培地整備を促す～重須地区住民の高台移転も開始！

2月補正予算の産業委員会での審議で「農業地域生産力強化整備事業費」15億6千万円の内容につき質問。これは、主に沼津市西浦地区のみかん栽培エリアの農道整備、園地集約&平坦化など総事業費130億円の一環。沼津市のみかん栽培は出荷額約15億円（3ケ日は80～100億円）ですが、この整備事業により効率化を進め、現在需要に追いつかない寿太郎みかんなどの生産拡大等につなげていきます。

また、先般、この地域の整備状況を県東部農林事務所において視察。軽トラ1台がやっと通れるくらいの急峻な土地の農道を地道に拡幅しながら、区画整理も行い、農地の集約、効率化を進めていますが、大変難しい工事であることを実感。

また、この事業の中で、2011年東日本大震災以降、重須地区住民の高台移転がクローズアップされましたが、そのための住宅用区画も捻出し、令和3年度より建設が始まります（6戸が移転）。

これだけの事業を県が行うことにより、大幅に西浦みかん栽培の就農環境が改善され、今後、若手就農者も増えることを期待します。



ふじのくに 静岡県の農業農村整備
静岡県東部農林事務所

西浦みかん地域の整備と農業 ～ 今後の展開 ～

より生産効率の高いみかん園を目指して

西浦みかん地域の更なる発展をめざし、所管の「Aなんすん、沼津市、静岡県」が連携し、市場における「西浦みかん」の優位性を確保していくため、将来に残していく優良園地の明確化と円滑な農地集積に向けて推進活動に取り組んでいます。また、若手生産者による産地の将来ビジョンの構築や販売体制の強化による収益向上を図る経営モデルの検討を進めています。

東部農林事務所アクションプログラム

- ①優良園地の確保…事業活用による奨励品種への更新、優良園地の明確化と農地集積の推進
- ②若手経営者の育成と販売の強化…寿太郎の品質向上と省力化の推進、制度を活用した販売力強化
- ③農地農道整備と関連小規模園地整備

担い手農家への集積・集約化

関係機関と農地集積の進捗状況や課題を情報共有し、活用や推進方法の改善を図る検討会を開催しています。

また、担い手を中心に農地集積の意向を把握するとともに、農地中間管理事業を周知することで、農地集積の推進を図っています。

若手経営者の育成と販売の強化

「寿太郎みかん」の栽培技術向上研修会を開催し、若手生産者が栽培する寿太郎の品質向上を図っています。また、農地整備研修会を開催し、省力化が実現できる園地整備計画を作成しています。

農地の販売体制を強化するため、みかんの機能性表示制度の活用を支援しています。

一社一村しずおか運動

重須地区では、2009年からウエディングプロデュース・レストラン運営の南ノバレーゼと、農産加工機プロジェクトを進めており、企業と農村が連携して行う協働活動として、静岡県から「一社一村しずおか運動」に認定されています。

みかん100%のお酢「想酢」の商品開発や、CSR活動の一環として収穫体験研修を実施しています。

⑦ 静岡・山梨・長野・新潟4県の新たな広域経済圏の推進を質す！

コロナで首都圏への1次産品の出荷が激減してしまいましたが、今年夏の中部横断自動車道の全線開通も見据え、静岡、山梨、長野、新潟4県での新たな広域経済圏を形成するよう、昨年より本県主導にて推進しており、その進捗状況を産業委員会で質問しました。

令和3年度は、スーパー等での県産品の相互販売、詰合せセットの開発&販売、物産市開催を推進。また、この4県知事によるサミットの開催と共同宣言を行う予定とのことであり、私からは県民へのPRと周知を積極的に行い、令和3年度で4000万円の事業予算を計上していることもあり、明確に費用対効果が上がる様、4県を束ねる知事のリーダーシップと、詳細施策の構築を要望しました。県民の皆様のご協力、よろしくお願い致します。



県議会産業委員会での質問

○新たな広域経済圏「山の洲」の形成

静岡・山梨・長野・新潟の4県で、新たな広域経済圏を形成
4県人口は、約870万人、GDP計は、約38兆円規模の経済圏



II 静岡県令和3年度の主な事業内容

静岡県では、ご紹介したトピックスの他にも多くの事業を推進していきますので、部局ごとに主な内容をご紹介します。

健康福祉

- 「新型コロナ対策医療支援」(292億円)：確保病床の空床補償、軽症者用宿泊施設借上げ、ワクチン接種設備支援
- 「新型コロナ対策 福祉支援」(17億円)：社会福祉施設の感染防止対策、介護分野のICT機器導入
- 「子ども子育て支援」(189億円)：保育所、認定こども園運営費、幼児教育・保育無償化費
- 「子どもの貧困対策」(1.5億円)：子ども居場所づくり、学びの場の提供支援
- 「不妊治療費助成」(10.7億円)：R3年1月から保険適用までの間を治療費助成



裏面に続く⇒

スポーツ・観光文化

- 「ラグビー聖地化」(1.2 億円)：日本代表戦開催、練習グラウンド5面施設整備
 「東京 2020 オリパラ自転車競技開催」(19.4 億円)：競技準備、運営に加えコロナ対策＝PCR 検査費用 5 億円追加
 「観光誘客事業」(10 億円)：需要喚起へ県内宿泊費補助、施設周遊補助等
 「観光地ワーケーション受入促進」(3.2 億円)：宿泊事業者の受入れへの環境整備助成
 「R4 年 NHK 大河ドラマ 鎌倉殿の 13 人 誘客促進事業」(500 万円)：東部・伊豆が舞台のドラマ契機に観光魅力発信

■東京 2020 オリパラ自転車競技開催日程

競技	オリンピック期間	パラリンピック期間	会場(予定)
ロード	2021/7/24、25、28	2021/8/31-9/3	富士スピードウェイ
MTB	2021/7/26-27	-	伊豆マウンテンバイクコース
トラック	2021/2/2-8	2021/8/25-28	伊豆ベロドローム

■オリンピック聖火リレー

沼津市内：6月24日(木)
 コース：飛龍高校前 19:03
 ⇒プラサヴェルデ 19:40
 距離：約 2.7km / 走者 14 人



経済産業

- 「EV・自動化運転等技術革新対応」(3.3 億円)：対応技術に取り組む県内企業を支援
 「住宅リフォーム助成」(2.1 億円)：テレワーク対応等に対応するための住宅改修を補助、R2 年 400 件実績
 「中小企業デジタル化・業態転換促進」(4.1 億円)：業態転換やテレワーク導入等 IT 活用の新取組支援、
 上限 200 万円 250 件予定
 「中小企業向制度融資促進」(170.7 億円利子補給)：融資枠 1700 億円、県が利子補給を実施
 「小学校花いっぱい提供事業」(4 千万円)：消費落込みの花き生産者支援、県内小中学校へ花配布
 「水産物販売促進緊急対策」(2 億円)：需要減少の県水産物(沼津の養殖アジ・マダイ他)の学校給食提供 (R2 継続)



交通基盤

- 「道路、河川、海岸、港湾、生活排水等社会資本整備」(889 億円)：防災、減災、国土強靱化 5 ヶ年加速化対策で
 前年度より増加
 「地域公共交通活性化推進」(3.3 億円)：ウィズコロナ対応、公共交通機関のキャッシュレス対応推進
 「沼津駅高架化関連事業」(6.6 億円)：新貨物ターミナルの詳細設計、高架本体用地買収、埋蔵文化財調査

教育委員会

- 「スクールサポートスタッフ配置」(5.6 億円)：小中学校の教員負担低減へ事務、感染症対策を支援するスタッフ配置
 「新時代を拓く高校教育推進」(1 億円)：新しい時代に対応する普通課改革、新学科、実学系学科での産学連携推進

警察本部

- 「交通安全施設整備」(42.8 億円)：信号機新設、道路標識整備、信号機 LED 化



県民の皆様の様々な取り組みやご意見、ご要望を是非お寄せ下さい。
 コロナに打ち勝ち、豊かな県政発展に向け、積極的に行動して参ります!

もとあき 加藤 元章プロフィール 昭和 38 年 11 月 9 日 旧原町生まれ

- 静岡県立富士高等学校卒業
- 早稲田大学 政治経済学部卒業
- 三菱自動車工業(株)東京本社勤務(商品企画 Mgr.)
- H15 沼津市議会議員初当選、以降 4 期連続当選
- 各常任委員会 委員長歴任、第 94 代副議長
- H30 沼津市長選挙挑戦
- H31 静岡県議会選挙初当選、自民改革会議所属

加藤もとあき事務所

TEL 055-962-3190
 FAX 055-960-9720
 〒410-0036
 沼津市平町24-4-902

E-mail : motoaki-kato@npo-stds.com
 HP : <http://www.motoaki-kato.net>

